

宇津木台 森遊会 実施報告

「第5回定例活動」

No.2023-05

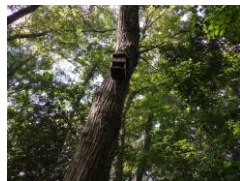
実施日	2023年8月27(日) 10:00~12:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：3名 松本、井手、金森		

実施内容

活動13年目の第五回目。連日の猛暑の中、熱中症と蜂刺されに細心の注意をはらいながら作業する。物置の周りは陽当たりが良いので草だらけと思いきや、緑地の管理者が草刈りをしてくれたようだ。我々は動力による草刈り機を持たないため、時間も労力もかかり大変な作業となるのでありがたい。2月に壊れかけた巣箱を修復して残したが完全に壊れてしまい駄目だった。次回以降に撤去したい。夏は多くのキノコがみられる。アマダケやホコリダケの仲間、キツネのチャブクロは良く見かける。昆虫トラップのストッキングがそのまま残されていたので撤去のうえ廃棄する。放置はマナー違反。小川に沿った多摩川側のエリアを草刈りする。ここは4年前に地元石川中学校の総合学習授業で草刈りを行った経緯があり、その後は低木を育てるために放置してきた。驚くことに実生で育ったコナラが群生している。背丈は1mになるものがあり、これらを伐らないように慎重に草や雑木を伐っていく。コロナで総合学習授業は中止になったままである。草刈りした意義がやっと見えるようになったが彼らにフィードバックする機会はない。森づくりは長期に亘るのでいずれそういった機会を期待したい。



倉庫の前は緑地の管理者が草刈りをしたようだ(感謝) 壊れかけていた巣箱は駄目だった 強風があったのか太い枝が折れている



夏はキノコが多く見られる



昆虫トラップのストッキングが数か所に放置されていたので撤去のうえ廃棄した(マナーが悪い)



管理者が設置してくれた我々の活動を紹介する看板(だいぶ傷んできた)



小川の上のエリアで草刈り開始



実生のコナラが育っている



草を刈りながらコナラは残す



かつて石川中学校が草刈りしてその後放置したためコナラが育った



キツネのチャブクロを発見

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。